

# 広島大学 校友会だより

特集

卒業生の課外活動



第9回

広島大学ホームカミングデー

平成27年11月7日(土) 広島大学東広島キャンパス

ホームカミングデースペシャル

トークショー 「野球が私に教えてくれたこと」

野球評論家、前広島東洋カープ監督 野村 謙二郎さん



Hiroshima University Alumni Association

広島大学校友会



# 広島大学の新しい時代を、ともに創る皆さまへ ホームカミングデーで会いましょう。

広島大学長・広島大学校友会会長 越智 光夫

## 人的ネットワークの力

私には夢があります。母校である広島大学に世界中から研究者や学生が集い、国や時代を超えた人のつながりが、広島大学を中心に広がることです。

私は広島大学医学部を卒業してから整形外科の臨床医、研究者としてここまで歩んできました。ご存じのように、臨床の現場では「チーム医療」が主流となっています。専門の医師だけでなく関連領域の医師、看護師、薬剤師などさまざまな専門家が結集して患者さんの治療にあたるのです。また、私の研究分野では、メーカーなど産業界との連携によってはじめて、身体の機能を再生する技術として実用化にこぎ着け、患者さんのQOL（社会生活のクオリティ）の向上実現を果たすことができました。

こうした経験の中から学んだのは、人と人が連携することで生まれる力の強さ、人のネットワークの力です。

## 舞台はインターナショナル

幸い、平成26年度、本学はスーパーグローバル大学創成支援のタイプA（トップ型）13大学のひとつとして選ばれました。前年の研究大学強化促進事業の支援大学選定とあわせ、わが国でも有数の大学としてインターナショナル・ユニバーシティの足場を築きつつあります。

さらに本学には、広島大学校友会があります。時空を超えて、広島大学に関係する人や団体が集うネットワークです。もちろん、この中には海外から留学して本学で学んだ多くの著名な卒業生もいます。

インターナショナル・ユニバーシティとして成長する大学と世界に広がるネットワーク—夢が実現に向けて確実に歩を進めていることを、私は実感しています。

## 輝き続ける大学であるために

とはいえ、大学を取り巻く環境は年ごとに厳しさを増しています。大学入学人口は減少し、国立大学法人といえども「選ばれる大学」であり続けるためには、独自性を打ち出しながら、さまざまな面でブラッシュアップしていくことが求められます。

教育・研究を担う教員、運営を担う職員、そして学外から物心両面でサポートして下さる校友会・同窓会。この三者が力を合わせて教育環境を整え、社会の期待に応える有能な人材を育てていく—広島大学が、これからもずっと輝き続けるにはこれしかない—と私は考えています。どれが欠けても、国際的な競争を勝ち抜いていくことはできないでしょう。

## 校友会員の絆を強める

中でも、人のネットワークである校友会には、未来に向かって

## 広島大学校友会だより Vol.18

### CONTENTS

#### 特集

卒業生の課外活動 5-8

校友会SUPPORT FILE 9-10

課外活動援助団体……………硬式庭球部  
ドリームチャレンジ賞受賞……………リズムダンスクラブ  
平成27年度 学生支援報告  
……………平成27年度 学術研究助成金決定

先輩インタビュー 11-12

株式会社村上農園 代表取締役社長

村上 清貴さん

(1983年総合科学部卒業)

大学時代の友人は  
ビジネスのサポーターでもある。

広島大学 NEWS PICK-UP 13-14

ケネディ大使と広大生がトーク/ニューサウスウェールズ大学と  
大学間交流協定/越智光夫学長が紫綬褒章を受章 など

校友会レポート 15

若い力で広がる“ミニ校友会” など

新たな出会いとつながりを育む場としての役割を期待しています。

私は第12代広島大学長として大学を輝く未来に導く役目を仰せつかったわけですが、同時に、一人の校友会員として、大学の発展をサポートする使命も担っていると肝に銘じています。

11月の第1土曜日、今年は7日になりますが、ホームカミングデーにお集まりいただく多くの校友会員の皆さまと、広島大学の未来像を語り合い、夢を共有できることを切に願っております。

#### 越智光夫会長プロフィール

1952年8月6日生まれ。愛媛県今治市出身。  
広島大学医学部卒業後、整形外科に入局。手の外科の世界的権威、津下健哉教授に指導を受ける。ヨーロッパ留学、島根医科大学教授を経て2002年に広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授に就任。膝軟骨損傷の患者から採取した細胞を培養し、患部に移植する三次元自家培養軟骨移植を開発した。この治療法は2013年4月、日本発の再生医療で初めて保険適用になった。こうした功績により2004年に内閣府の産学官連携功労者表彰「日本学術会議会長賞」、2010年に文部科学大臣表彰「科学技術賞」、2014年に産学官連携功労者表彰「厚生労働大臣賞」を受賞。カーブやサンフレッチェの選手の治療やけが予防にも取り組む。2012年には中国文化賞を受賞。2015年には「自家培養軟骨の開発」の研究結果が評価され、紫綬褒章を受章した。  
2015年4月から第12代広島大学長、第3代広島大学校友会会長に就任。



## 第9回 広島大学ホームカミングデー スペシャル



前監督が、広島東洋カープ一筋の野球人生を語ります。

時 14:00~15:00 場 法学部・経済学部講義棟255・257講義室

トークショー

### 「野球が私に教えてくれたこと」

野球評論家、前広島東洋カープ監督 **野村 謙二郎 氏**

野村 謙二郎 氏プロフィール

1966年大分県生まれ。駒澤大学からドラフト第1位で広島東洋カープへ入団。通算2000本安打を達成するなど輝かしい記録を残して2005年に引退。2010年に監督として再びカープのユニフォームを着てからは、選手時代さながらのリーダーシップでBクラスに低迷していたチームを立て直し、2013年から2年連続クライマックスシリーズに出場。今年のカープフィーバーの礎を築いた。現在は日本テレビ、広島テレビの野球解説者、スポーツニッポンの野球評論家として活躍中。



# HCD 9th

平成27年 11/7(土)  
第9回 広島大学ホームカミングデー

## HCDスペシャル

時 14:00~15:00  
場 法学部・経済学部講義棟  
255・257講義室

### トークショー

### 「野球が私に教えてくれたこと」

野球評論家、前広島東洋カープ監督  
**野村 謙二郎 氏**



## HCD学生チーム企画

時 10:00~16:00  
場 サタケメモリアルホール前広場



## 連携市町の物産展

時 10:00~17:00  
場 サタケメモリアルホール前広場



## 懇親会(会費制)

時 15:30~17:00  
場 学生会館レセプションホール



## 東広島天文台観望会

時 17:00~19:00  
場 東広島天文台※マイクロバスで送迎

定員50名  
当日、総合受付にて  
16:30~受付開始



## 文書館

時 10:00~17:00  
場 学士会館



## 「広島大学の歴史展」



## 学部・研究科企画 等

### 総合科学部・総合科学研究科

時 13:30~15:00  
場 総合科学研究科 第1会議室

### 13:30~14:10 日本人学生及び外国人留学生による留学報告会

海外留学から帰国した日本人学生が海外での学生生活や文化的な違いなどについて、また、広島大学に留学してきた外国人留学生が日本での学生生活や文化的な違いなどについて、それぞれ報告します。

### 14:20~15:00 総合科学部後援会総会

総合科学部及び総合科学研究科における円滑な教育活動を支援し、併せて会員相互の理解及び協力関係の維持を図ることを目的として設置する総合科学部後援会の総会を実施します。

問 総合科学研究科支援室  
☎082-424-6303・6306

### 教育学部・教育学研究科

### 「共にまなぶ・はたらく・くらす」

時 10:00~17:00 場 学生プラザ1F  
特別支援教育学講座・特別支援教育実践センター教員の研究を中心に、広島大学の障がい者雇用、附属東雲小・中学校での特別支援教育に関する展示・発表・体験などを行います。

問 特別支援教育学講座事務局  
☎082-424-7180

### 「人間生活を考える ～暮らしの伝承と創造～」

時 11:00~16:00  
場 教育学部 K棟214講義室  
研究成果の紹介と手づくり作品の展示・販売。人間生活系コースと来年60周年を迎える同コース同窓会との共催企画です。

問 人間生活教育学講座  
☎082-424-6851・6861

### オペラ名場面集

時 15:00~17:00 (14:30開場)  
場 教育学部 音楽棟演奏室 (F101)  
「フィガロの結婚」「ドン・ジョバンニ」「コシ・ファン・トゥッテ」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「こうもり」「カルメン」から名場面をセレクトしてハイライト上演します。

問 音楽文化教育学講座事務局  
☎082-424-6834

### 文学部・文学研究科

時 14:00~16:00  
場 文学研究科 講義棟1階学生ロビー

### 文学部で味わう 世界のティータイム

文学部・文学研究科で学ぶ外国人留学生が講師になり、日常会話レベルの母国語や自国の生活・文化を紹介します。留学生の出身国のお菓子やお茶を楽しみながら、気軽に異文化を体験することができます。

問 文学研究科支援室 ☎082-424-6604

### 法学部・経済学部・社会科学部 社会科学部

時 11:00~13:00

### 11:00~11:15 各部局長挨拶

法学部長、経済学部長、社会科学部研究科長

11:15~12:15

### 講演会

大学院社会科学部研究科  
原口 恭彦 教授

場 法学部・経済学部 講義棟B351大会議室

12:20~13:00

### 懇親会

場 法学部・経済学部 研究棟A102中会議室

問 社会科学部研究科支援室  
☎082-424-7205

## 理学部・ 理学研究科

### 第6回 広島大学理学部 生物科学同窓会記念講演会

講師／豊原 源太郎

(1965年学部卒、1967年修士修了)

演題／理学部生態実験園の思い出(仮題)

時 12:45～15:30

場 理学研究科 E棟210講義室

12:15 受付開始

12:45 学科長による学科紹介

13:00 講演会

14:00 懇親会

問 理学研究科生物科学専攻

☎082-424-7439

### 地球惑星システム学科/専攻 「第5回DEPSS広島セミナー -教室OB(大学教授経験者)を招 いたホームカミングシンポジウム-」

時 13:00～17:30

場 理学研究科 B棟603講義室

原郁夫先生(S30年卒)、石原舜三先生(S31年卒)、沖村雄二先生(S31年卒)、嶋本利彦先生(S44年卒)、4人の卒業生の講演と、大学院生による研究ポスター発表です。

問 理学研究科地球惑星システム学専攻

☎082-424-7484

### 広島大学極限宇宙研究拠点 一般相対論誕生100年記念 市民講演会

時 13:00～16:00

場 理学研究科 E棟002講義室

「中性子星とブラックホール」

京都大学大学院教授 中村 卓史氏

「重力波：アインシュタインの夢で

宇宙からのメロディー」

東京大学宇宙線研究所教授 川村 静児氏

### 広島大学キラル物性研究拠点 講演会

時 16:15～17:00

場 理学研究科 E棟002講義室

「新しい超伝導体を求めて」

広島大学キラル物性研究拠点特任教授 秋光 純氏

問 学術・社会連携室 ☎082-424-4426

## 工学部・ 工学研究科

### 講演会

研究科長挨拶及び近況報告

博士課程修了者による講演

博士課程在学者による講演

博士課程進学について

時 13:30～14:30

場 工学研究科 大会議室 他

問 工学研究科支援室

☎082-424-7519・7518

なお、工学部・工学研究科では、学部3年生および修士1年の保護者を対象とした「保護者のための研究室見学」をあわせて開催します。参加申込については、工学部・工学研究科から学部3年および修士1年の保護者へ別途案内を行います。

### 保護者のための研究室見学

時 14:30～15:30

場 工学研究科

問 工学研究科支援室

☎082-424-7519・7518

## 先端物質科学研究科

時 11:00～16:30

場 先端物質科学研究科

### 研究室公開

量子物質科学専攻(2研究室)

分子生命機能科学専攻(2研究室)

半導体集積科学専攻(1研究室)

### パネル展示

研究成果などのご紹介

### 講演会

分子生命機能科学専攻、半導体集積科学専攻の卒業生などによる講演会を予定しています。

問 先端物質科学研究科支援室

☎082-424-7007

## 生物生産学部・ 生物圏科学研究科

### 研究科創立30周年記念事業

#### 第1部 記念シンポジウム

時 13:00～14:30

場 生物圏科学研究科 C206講義室

講師 谷口 幸三 名誉教授(前研究科長)

植松 一眞 研究科長

#### 第2部 附属施設キャンパスツアー

Aコース：農場、圃場、鶏舎、食品工場の見学

(東広島キャンパス内)

時 15:00～17:30

※海外から帰国後2週間以内の方は、防疫上の理由により参加できません。

Bコース：練習船 豊潮丸の乗船見学

(呉基地～呉港周遊クルーズ)

時 14:30～17:30

※先着40名限定(荒天の場合は停泊見学となりますのでご了承ください。)

#### 第3部 研究科創立30周年記念祝賀会

時 18:00～20:00

場 西条 HAKUWA ホテル

問 生物圏科学研究科支援室

☎082-424-7902

## 国際協力研究科

時 14:00～18:00

場 国際協力研究科(1階ロビー、2階講義室)  
南二駐車場

### IDEC Open Day 2015 Welcome to IDEC ～世界の国からコンニチハ!!～

- 世界の歌や踊り(伝統舞踊ステージ)  
各国の伝統的な踊りや歌を披露します。
- 世界の文化(伝統料理・ゲームコーナー)  
各国の伝統料理やゲームをお楽しみください。  
売上はすべてネパール大地震へ募金します。

問 国際協力研究科院生会

☎082-424-6917

## 霞地区合同 医学部・歯学部・薬学部・医歯薬保健学研究科・ 原爆放射線医科学研究所・大学病院

11月14日(土)  
霞キャンパス

時 平成27年11月14日(土) 15:00～16:30

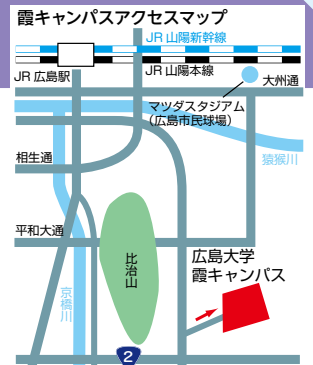
場 広仁会館 大会議室(広島大学霞キャンパス)

### 講演会 なぜ、「これ」は健康にいいのか?

順天堂大学医学部教授 小林 弘幸氏

「健康とは、どのような状態か?」とよく質問されます。私は「末梢の一つ一つの細胞に、質の良い血液を十分に供給できる状態」とお答えしていますが、この働きの中核を担う「自律神経」の重要性についてお話しします。

問 霞地区運営支援部 ☎082-257-5013





# 卒業生の課外活動

ある意味、原点 クラブ・サークルに「還る」。



## 広島大学合唱団

「被爆70周年を追悼する歌の展覧会」と名づけられた合唱コンサートに  
広島大学合唱団のOB、OGが集まった。

これに現役合唱団も加わり120名の大合唱となる。

この演奏会、実は、

半世紀にわたり広島大学合唱団の常任指揮者を務めてきた西尾優先生と  
在学中にその教えを受けたOB、OGたちの絆が実現させたステージだった。



文：高野真之  
1983年法学部入学  
広島大学合唱団OB  
株式会社オフワード代表



コンサートは2015年9月5日、  
広島市のアステールプラザ大ホールで開催

### 恩師、最後の定期演奏会

広島大学合唱団は今年で創団58年。広大でも長い歴史をもつサークルの一つだ。そのうちの大半、52年にわたって学生たちを指導してきた西尾優先生が引退することになった。

「昨年12月の定期演奏会が、常任指揮者としての最後のステージとなるはずでした。でも『私たちも、もう一度先生の指揮で歌いたい』という気持ちが、先生を慕うOB、OGの心に芽ばえたんです」

合唱団の顧問を務める若木教授（理学研究科）がそう語った。彼自身、合唱団OB（1981年入団）である。

「西尾先生ご自身、合唱指揮者として被爆70年の節目に追悼の演奏会を開きたいという思いを以前からお持ちでした。

しかし、団員数が少ない現在の広島大学合唱団では、先生の考える演奏会の実現は難しく、先生の思いは宙に浮いてしまっていたんです」

それを知った広島在住の一部OBから「OB、OGが中心になって、先生の常任指揮者ご勇退の機に“広島被爆70年追悼コンサート”を実現しよう」という声が上がったのだ。

### 広島練習、関東練習

合唱団では過去にも30周年、40周年といった区切りの定期演奏会で、現役とOBの合同ステージを行ってきた例はあった。しかし今回の演奏会は、規模が違った。

「追悼にあたって先生が選んだ曲は大曲・難曲がズラリ。この曲をやるなら合唱団員も100名は揃えたい。会場も大きなホール

で……。『先生の思いに応えたい』と、われわれ自身がハードルをどんどん上げてしまいましたね」と若木さんは苦笑する。しかし、一方でその危機感がOB、OGの連携を広く、強くした。

「広島近辺だけじゃ難しいと、関東在住のOB、OGにも声を掛けたんです。『聴きに来るだけじゃなくて、ステージに乗ってくれ。西尾先生の合唱団最後のステージだから』、と」

広島からの呼びかけに、関東のOB、OGはすぐに応えた。いや「すぐに」というと語弊があるだろう。関東での推進役の一人、松浦さん（1983年入団）は言う。

「最初に広島同期から、『関東のOB、OGに声をかけくれ』と電話をもらった時は躊躇しましたよ。何せ卒業以来、合唱なんてほとんどやってないし、正直、仕事も忙しかったですから」



▲タクトを振る先生の姿は、OB、OGの記憶の中のものとは変わらない。時を越えた練習が行われる。



▲広大学士会館、市内の公民館、広島で、東京で…練習場所の確保にもずいぶん苦勞した。

状況は誰も似たり寄ったりだろう。1人でも多く参加者を集めようと思ったら、練習も関東でやらなければならない。先生に何度も東京まで来ていただくわけにもいれないから練習指揮者も必要だ。幸い、今も社会人の合唱団で指揮者として活発に活動を続けているOBの1人に練習指揮を快諾してもらい、やっと練習開始。

そこに30名余と予想を越えるOB、OGが集結した。7月には西尾先生を東京に招いての練習も実現。その日は広島をはじめ関東圏以外からも多数参加し、同窓会さながらの練習風景となった。

## いつでも帰れる場所

「練習の時の先生の指導が40年前と一緒になんです。ジョークまで同じ(笑)。歌っているうち、当時にすっかり戻っちゃいましたね」と、卒業以来40年ぶりのステージというOB。「参加してよかった」と声を弾ませながら気持ちを語ってくれた。

取材を行ったのは本番まであと2カ月ほどという時期だったが、その時点で練習以外の懸念はほぼクリアされていた。100名を目標にしていたステージ参加者は120名ほどのメドがたち、入場無料のチャリティー演奏会を支える寄付も、ステージに立ってない多数のOB、OGの協力

を含め十分な確保ができたという。

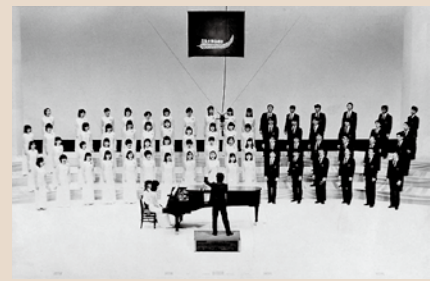
## 現役とOB、OGとの新たな関係

また、今回の演奏会にはOB、OGだけでなく20名ほどの現役団員も参加。半世紀にわたる世代の交流の場ともなった。その過程で、現役団員たちは西尾先生のあとの指導を、合唱団OBで現在は岩国で社会人合唱団を指導する村上さんに依頼。村上氏も「とりあえず1年」という条件で引き受け、今は月2回の指導にあたっている。

「合唱団での指導を来年度以降も続けるかは、まだ決めていません。半生を賭けて私たちが指導いただいた西尾先生の後を受けて……と考えると、やはり覚悟のいることですから」と村上さん。その後、彼は言葉をつないだ。

「音楽家として指導にあたってこられた先生と学生、OBである私と学生との関わり方は違うはず。OBとして学生にどう関わり、その成長を支援できるか？ それは私だけではなく、他のOB、OGにも考えてほしいテーマだと思います」

指導者の勇退を機に開かれた「被爆70周年を追悼する歌の展覧会」。それは、OB、OGと現役学生との新たな関係がはじまる契機ともなったようだ。



▲コンクール、高校等への演奏旅行…数ある演奏機会の中でも、毎年ほぼ12月に行われる定期演奏会が一年の活動の集大成。



## 在学生たちへの新しい視線。

若木 宏文さん 1981年理学部入学  
広島大学理学部 教授

学生時代を合唱団で過ごし、今は教員の立場での顧問。それがこの演奏会では事務局と久しぶりの歌手手として学生たちと関わりました。そこで見てきたのは普段の接点からは感じられない学生たちの悩みや合唱団に対する真剣な思い。普段は幼さも目に付く彼(彼女)らが、いろんな経験や葛藤を通じて成長している姿でした。時にはOBや顧問とは違う距離感で学生たちに接することも大事なことだと気が付く機会になりました。



## 数十年ぶりの“帰帰”です。

松浦 大造さん 1983年教育学部入学  
独立行政法人労働政策研究・研修機構

私にとって、今回の演奏会への参加は2つの意味で意義あるものになりました。ひとつは思いを分かち合える仲間とハーモニーをつくる喜びを数十年ぶりに味わえたこと。そしてもうひとつは縁あって広島で学んだ私が、入学以来ずっと考えていた被爆で亡くなった方々への追悼の思いを表すことができたこと。最初は躊躇もあった歌手手としての合唱団への帰帰。参加してよかったと思っています。



## 育てる喜びを感じました

村上 謙一郎さん 1986年理学部入学  
有限会社シンコウ 代表取締役

今回の演奏会をきっかけに現役の学生たちと関わるようになって、世代のギャップを感じながらも、彼(彼女)たちの合唱音楽に対するまっすぐな思いを感じるようになってきて、実はとても嬉しくまた新鮮に感じています。私は社会人合唱団の指導もしていますが、社会人の場合は演奏指導が私の役割。でも学生を相手にする場合は、そこに「育てる」という思いが加わる。「育てる」ことは私自身の成長にもつながることだと感じています。





# 卒業生の課外活動 クラブ・サークルOB、OGそれぞれの関わり方

## 生活指導・相談役 剣道部



**村井 慎治**  
1976年工学部入学  
株式会社フェニックス  
代表取締役



**部員たちがより成長できる環境づくりを支援する。それがOBの役目であり、私の楽しみです。**

剣道部には「剣魂会」というOB組織があり、その理事の一人として私は学生窓口・体育会担当をしています。いわばOBと現役学生の間をつなぐパイプ役。週3回、練習に参加して、指導の傍ら、練習の様子を録画し剣魂会のホームページにアップ。600名近いOBたちが世界中どこにいても後輩たちの練習を見ることができるようになっています。指導については、私のもっぱら生活指導(笑)。学生生活から就活まで何でもありの、学生たちの相談役です。

剣魂会の役割は、鍛錬の場を整え、学生たちの成長を支援すること。そんな思いをもって私だけではない他のOBも練習に顔を出し、大会があれば応援に駆け付け、毎年まとまった額の寄附もしてきています。また学生たちを教え導いてくださる指導者の誘致も剣魂会の大切な役目です。現在、3代目の師範をお願いしている藤原崇郎先生(範士八段)は、高校の校長をされていた当時をお願いにありがた、「定年を迎えたら」という約束で13年を待ってお迎えした方。その甲斐あって、藤原先生の師範就任8年の間に女子個人全国3位が5回という成績をあげました。学生たちが「剣道を通じてより成長できる環境をつくる」こともわれわれOBにしかできないことだと思います。

とはいえ、使命感だけでは続きません。私は、前述の剣魂会ホームページに「へたくそ剣道理論」なるブログを連載していますが、これも私自身が楽しみながらやっていること。まして、もはや我が子より若い学生諸君と身近につきあい、その成長を見続けられることは何より楽しいことですよ。

昭和31年の創部から連綿と続いてきたつながりから、今後も有為な若者たちが続々と育ってほしい、と願っています。

## 監督 馬術部



**木内 啓司**  
1989年文学部入学  
東広島市企画課 課長補佐



**OBがつなぐクラブ支援のタスキリレー。馬術を通じたつながりが部員たちを育てています。**

馬術部はOBの支援なしでは成り立たないクラブ。私が現役の頃もたくさんのOBのお世話になりました。今は私が監督していますが、大先輩である先代監督にもずっと指導していただいていますし、他にも多くのOBが馬術部に関わっています。馬は生き物ですから毎日の世話が重要で、夏休みも冬休みもお盆も正月もなく、一年365日誰かが馬場に出なきゃいけません。7頭~8頭いる馬の餌代は月15~20万円、装蹄にも月1.5万円/頭。大会のための馬の移動にもコストがかかりますし、馬を買おうと思ったら1頭100万円ほど……。すべてを学生や部費だけでまかなうことは難しいですね。

でも、だからこそ、ハマると人生が変わりますよ。私も、まったくの未経験から馬術部に入学して人生が変わった一人です。香川県出身なのに東広島市役所に就職したのも馬術を続けるためです。国体

選手として馬術に関わり続けていましたし、人生のかなりのウェイトが馬術とともにありますね。周りのみんなもそうですから互いの絆は深まります。馬術を通じて人間形成されていく感じ。自分自身がそうやって成長してきましたから、今は後輩たちの成長をサポートしていきたいと思っています。

また、馬術に関わるものとしてはもっと馬術に親しむ機会を増やしたい。そんな思いで年3回、広島大学馬術部として、一般の方々に参加していただく体験乗馬会を開いています。今では地域の恒例イベントとして定着し、子ども連れのご家族を中心に毎回200人くらいの方々に参加していただけるようになりました。この体験会で馬に親しんだ子どもたちが将来、広大に入って馬術部を訪ねてくれたら最高ですね。



## 交流・相談 E.S.S.

サークルは人間関係を学ぶ場。  
そこに機会を提供するのもOBの役割。



**鎌田 望**  
1970年政経学部  
(現・経済学部)入学  
伊藤忠商事株式会社

卒業して40年以上経ちますが、E.S.S.を立ち上げた人間としていつも気にかけています。毎年広島で現役生と卒業生同士の忘年会をしているんですよ。私も必ず東京から参加しています。私が海外勤務の間も、忘年会は毎年、誰かが声をかけてしていたんですよ。現役生から就活の相談をされることも多くあります。

もう一つ、ワインパーティー。東京ではたびたび開催していますが、西条でも毎年1回は開いています。海外ではパーティーの機会がとても多いですから、後輩にもワインを媒介していろいろな人との交流を経験してほしいと思って。サークルは、学生たちが人間関係を学ぶ場でもあります。私は、現役生だけでは作れない機会を提供しているだけです。学生たちが盛り上がって本当に楽しそうに見えるだけで、一つの経験をさせることができた、と嬉しくなります。



**藤田 亮介**  
生物生産学部3年/  
E.S.S.部長

E.S.S.は、文化系サークルには珍しく、OBの方々とつながりが非常に強いんです。E.S.S.はスピーチ・ディスカッション・ドラマといったセクションに分かれて活動するんですが、そのどれもがOBの方々の助けがなければ成り立ちません。スピーチなら添削を、ディスカッションではコメンテーターを、ドラマでは照明などの裏方を、それぞれOBにお願いしている。

それから、このワイン会。鎌田さんが毎年声をかけて現役とOBが交流する機会をつくってくださる。もちろん、現役生も連絡や運営などで働きますが、企画はすべてお任せしています。鎌田さんはじめ、私にとっては“雲の上”の先輩方と話せるまたとない機会です。

E.S.S.には創部以来の250人のメーリングリストが完備しているんです。このネットワークはE.S.S.の財産だと思います。

## 監督+資金援助

## 自動車部

3年生の時に果たした年間総合優勝。  
あの喜びを後輩たちにもぜひ味わってほしい。



**西本 功**  
1977年工学部入学  
湧永製薬株式会社



今も“あの時”の気持ちがはっきり蘇ります。1980年の大学選手権で総合優勝して表彰台に立った時、ぼくの頭に浮かんだのは千田キャンパスの正門のフェニックスだった。それほど“広大の代表”として全国の大学の頂点に立てた喜びが大きかったんだと思います。資金もない地方大学の僕らが、いろんな面で恵まれた関東・関西の強豪大学を押さえて総合優勝できたんですから。

その後も後輩達が頑張って連覇しましたが、1984年を最後に、種目別の優勝はあっても総合優勝はない。「もう一度」という思いがあって。それが今も自動車部に関わり続ける私の原動力だと思います。

監督に就任したのは2005年。以来、1年の半分は毎週末、練習に顔を出しています。主な指導は上級生がしますが、新入生の指導には私も加わります。コツみたいなものを最初に身につけると、後がスムーズにいくので。

技術指導より、むしろ運営面が大変ですね。何しろ自動車はお金がかかります。年間で400万円ほど。それを20名ほどの部員たちだけで負担するのはとてもムリ。だから「自動車部同窓会」というOB組織で一人5,000円の年会費や寄附を募って、経費を除いた全額を部に寄贈します。また、隔年で同窓会総会を開催してそこでも寄附を募る。校友会や体育会に申請して援助金をいただいたり、OBが勤めるタイヤメーカーにもお願いしてタイヤを支給してもらっています。これらで何とかまかかっています。もっと潤沢な資金があればラクなんですけど「貧乏チーム」はわが部の伝統。その逆境をはねのけて総合優勝を果たすところに価値があるんじゃないですかね(笑)。

今、広大自動車部は全国で5番目くらいのところにいます。あと少し。年間総合優勝も決して夢じゃありません。だから、さらに多くのOBの応援にも期待しています。

## 第8回課外活動援助団体 硬式庭球部

### 目標は中四国大会団体優勝と 全国大会での初戦突破

広島大学硬式庭球部の部員数は男女合わせて36名。大人数とは言えませんが、男女ともに一部リーグに所属し、レギュラーメンバーの何人かは中四国学生ランキングの上位に名前を連ねるチームです。昨年9月に行われた「全日本大学対抗テニス王座決定試合」の中国四国地区大会でも、男子は団体3位、女子は2位と好成績を残しました。この戦績なら、まもなく優勝に手が届くのでは？そう尋ねると、キャプテンの藤田さんは日に焼けた笑顔を見せながらこう答えてくれました。

「ここ数年、中四国エリアではある大学が圧倒的な強さで優勝しています。優勝するにはその強豪校を倒さなければならない。それはたやすいことではありません。」

その言葉に女子メンバーを率いる木村さんもうなずきます。

「女子は、春の練習試合でその強豪チームに4-1で勝っているんです。どの試合も接戦でしたが、プレッシャーの中で勝ちきることができた。あの時感じた手ごたえを、秋



テニスコートは5面。ナイター設備も備え、21時まで使用できる。平日の練習は19時30分までだが、部員たちの多くは終了後も自主的に残り、21時まで練習を続けるという。



## 中四国エリアで常に上位を争う広島大学。 ライバル校を倒し、全国への切符をつかみとる

の大会につなげたいと思っています」。

“中四国地区大会で優勝し、全国大会初戦を白星で飾る”。部員全員で掲げる目標に向かって、藤田さんたちは毎日の練習にさまざまな工夫を取り入れています。

### もっと強くなるために、 さまざまな改革に着手

藤田さんは昨年10月のキャプテン就任以来、それまでのチームの運営方法を見直し、いくつかの改革に着手しました。

「特に力を入れているのは体力強化。サーキットトレーニングを中心に行っていて、少しずつ効果が表れてきたところ。また、ラリー練習も通常の試合と同様にスコアをカウントするという実践的な方式に変更し、緊張感を持たせるようにしています」。

改革はコート内だけにとどまりません。今、藤田さんが課題としているのは“モチベーションアップ”。そのための新たな取り組みを始めています。たとえばミーティングでは、ダブルスを組む部員同士でペアを組み、テニスに関するテーマでプレゼンをするという取り組みも行ったそうです。「ペア内のコミュニ



男子キャプテン  
藤田 裕也  
(教育学部4年)



女子キャプテン  
木村 祐佳  
(教育学部4年)

ケーションも深まるし、意見を交わすことによって部全体の交流も活発になる。チームの雰囲気も変わってきたと思います」。

### 先輩に感謝し、後輩にバトンをつなぐ

硬式庭球部では毎年援助金の申請を行い、遠征費などに役立てています。今後、団体戦での全国大会出場が実現すればさらに援助金が増え、藤田さんたちが進める改革にも拍車がかかるかもしれません。

また、OBとのつながりが強い硬式庭球部では、試合の応援席には必ずOBの姿があります。そんな先輩に対して感謝の念が絶えないと藤田さんは話します。

「先輩たちが時間をかけて築いてきたこのクラブがもっと存在感を示せるよう、力を尽くしたいと思っています。そのためにも部員数を増やしたい。今、広報の一環として、Facebookを通じて近況やテニスに対する考え方などを発信しています。実際、Facebookを始めてからホームページへのアクセス数が3倍になり、手ごたえを感じています」。

先輩から受け継いだバトンの後輩たちにつなぐために、硬式庭球部の挑戦はまだまだ続きます。

## 平成27年度 学生支援報告

### 平成27年度 学術研究助成金決定 若手研究者2人、学生13人、 計15人に316.2万円を助成

校友会は、若手研究者(40歳以下の准教授、専任講師、助教、助手、教諭など)、学生(学部生、大学院生、専攻科生)校友会員の優れた研究に対して助成を行っています。平成27年度も15名に、計316万円余を贈り、研究活動をサポートすることを決定しました。

#### 平成27年度 学術研究助成金(若手研究者)採択者

教育開発国際協力研究センター 研究員 岩國 佐和	質のある教員養成を目指して —ルワンダの教員養成校での学習指導過程と学び—
グローバルキャリアデザインセンター 特別研究員 小巻 翔平	リュウキュウカジカガエルの火山島への漂流分散と高温耐性の関連

#### 平成27年度 学術研究助成金(学生)採択者

大学院総合科学研究科D2 渡邊 大輝	抗酸化剤および還元型グルタチオン供給剤の投与が低頻度疲労に及ぼす影響
大学院教育学研究科M1 戸谷 彰宏	「黒いハート柄のトランプをみる」ことで、異なる世代への批判が生じる: Meaning Maintenance Model に基づく、他者批判の発生メカニズムの検討
大学院教育学研究科M2 難波 修史	Faceshift を用いた表情認知の検討
大学院教育学研究科D1 金 鍾成	米国 Common Core State Standards の授業実践に対するインパクトに関する研究—ニューヨーク州における中・高社会科教育を手がかりに—
大学院教育学研究科D3 紙本 裕一	数学的発問の反応後に見られる子どもの聴くことのパターン性についての研究



## 第8回ドリームチャレンジ賞受賞

### リズムミックダンスクラブ

「きんさいYOSAKOI」  
ステージ大賞受賞!

今年5月、広島県下最大級のイベント「フラワーフェスティバル」のステージに、YOSAKOI「不死鳥」を披露する広島大学リズムミックダンスクラブのメンバーの姿がありました。2年生と3年生で構成されたチームは総勢およそ50名。圧倒的な迫力と、よさこい独自の打楽器「鳴子」のリズムに乗った躍動感あふれる踊りで観客を魅了し、出場60チームの中で見事に「きんさいYOSAKOIステージ大賞」を受賞しました。

2013年の初参加以来、大賞受賞を目標に掲げて厳しい練習を重ねてきていただけに、メンバーの喜びはひとしおだったようです。「表彰式の一番最後に僕たちのチーム名が呼ばれたときは、頭の中が真っ白になりました。本当に驚きしかなかった。他のみんなもきっと同じ気持ちだったと思います」。部長の樋口さんは、受賞の瞬間をそう振り返ってくれました。



リズムミックダンスクラブは、ストリートダンスを中心に活動を行っている。「不死鳥」も、ストリートダンスの動きにYOSAKOIのテイストを融合させた作品だ。

## ほとばしる汗、躍動する肉体

### 圧巻のパフォーマンスで観る人を魅了する

#### 一人ひとりの個性を大切に

リズムミックダンスクラブのメンバーは現在86名。そのうち約9割はまったくの初心者だといいます。実は、チームを率いる樋口さんもその一人。「高校時代からダンスに興味があり、大学に入ったら絶対にダンスをやりたい!」と思っていたんです」と笑います。それにしても、初心者がほとんどを占める上に、100人近い大所帯。チームをまとめるのはなかなか大変そうです。

「一人ひとりの意見を大切に、というのが僕たちのスタンスです。一方的にこちらの考え方を押し付けるのではなく、まず相手の話を聞く。そしてアドバイスを織り交ぜながら一緒に考えることで、一つの方向性を見つけていくんです」と樋口さん。さらに、さまざまなイベントに向けての練習や懇親会などを通じてお互いの個性を理解し、そこで発見した各自の持ち味を引き出すような振り付け心がけている、とも話してくれました。こうして培ったチームワークこそが、リズムミックダンスクラブの一番の強みかもしれません。

#### ダンスの魅力を伝えたい

ダンスの楽しさをもっと多くの人に伝えたい。そんな思いから、リズムミックダンスクラブは広島県が運営する大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」に登録し、小中学生を中心にダンス指導を行っています。最初は不安そうな顔をしていた子どもも、踊っているうちにどんどん表情が明るくなっていくのだとか。それがメンバーのやりがいにもつながっているそうです。



部長  
樋口 洸太  
(経済学部3年)



顧問  
松尾 千秋教授

「ダンスユニットが人気を博していることもあり、今の子どもたちはダンスに対する関心がとても強いんです。関心があるから上手になる。みんなノリノリで踊っていますよ」。1989年の創部以来、クラブを見守ってきた松尾先生も、ダンス好きの増えることが嬉しくてたまらないようです。

ドリームチャレンジ賞の助成金は、こうしたボランティアのための移動費としても、クラブの運営を支えています。

さまざまな活動が評価され、来年度から体育会への昇格が決定したリズムミックダンスクラブ。今まで以上に、広島ダンスシーンを盛り上げる存在になりそうです。



リズムミックダンスクラブにとって、1年で最も大きなイベントである公演会は12月23日に開催する予定。今年で第25回の節目を迎える。

大学院理学研究科D2 梅枝 宏之	タウレプトン及びハドロン崩壊過程を通じた、固有パリティを破るパラメータの決定
大学院理学研究科D2 中出 翔太	MME J修復を利用した長鎖DNAのワンステップノックイン法の開発
大学院理学研究科D3 今田 康公	新規超原子価16族元素ラジカルの合成とラジカル電池材料としての応用
大学院国際協力研究科D2 隅田 姿	発展途上国への援助の効率化:モザンビークの教育援助の表層・深層構造
大学院医歯薬保健学研究科D1 河原 大輔	肝動脈化学塞栓術(TACE)後の体幹部位放射線治療におけるリビオドールの有用性
大学院医歯薬保健学研究科D2 崔 旻	小胞体ストレスセンサーOASISによる低酸素ストレス応答への寄与の解明
大学院医歯薬保健学研究科D3 坪川 典史	混合型肺腺癌におけるEGFR遺伝子変異不均一性の解明
大学院医歯薬保健学研究科D4 小林 美恵	Wnt5a陽性乳癌に対する抗Wnt5a抗体を使用した新規分子標的治療の可能性に関する研究



広島大学校友会からの助成金を授与された若手研究者、学生の皆さん



# 大学時代の友人は ビジネスのサポーターでもある。

株式会社村上農園 代表取締役社長

村上 清貴さん (1983年総合科学部卒業)

取材に訪れた在學生に、「他人の話信じな」と言った後、「いや、『鵜呑みにするな』と言うべきですね」と続けました。引き継いだ会社の危機に直面し、自ら生産者、販売店、双方の現場を見て歩き、“売れる製品”を見分ける目を磨くことで新しい道を拓き乗り越えたと語る村上さん。「自分の目で見て、肌で感じて、自分の頭で考えれば“新しい道”は必ず見えてくる」。この言葉、在學生にはどのように響いたでしょうか。

## 野菜のマーケティング

振り返ってみると、私は友だちにずいぶん助けられてきました。

憶えておられる方も多いと思いますが、1996年の大阪堺の「O157食中毒事件」。当時専門だったカイワレダイコンが食中毒の原因食材と疑われ、売上がそれ以前の2割にまで落ち込んでしまいました。全国7カ所の生産拠点を3カ所に減らし、従業員に自宅待機してもらい、なんとか食いつなぎながら、新しい製品開発に取り組んでいたんです。

“野菜の製品開発”一分かりにくいと思いますが、一つには素材。スーパーや生産者を回って、当時店頭に並んでいなかった野菜から“待たれている商品”を見つけるんです。そして、ハーブとかサラダほうれん草とかを製品化していった。もう一つは販売方法。ネーミング、パッケージなどです。食べ方、調理方法などを紹介するかしないかだけで売れ方が違いますからね。そうです、野菜にマーケティング手法を持ち込もうということなんです。

## 同級生プロジェクト

“売れる商品”が分かってきた頃、アメリカの関連会社を通して「がん予防効果のある物質がブロッコリーの新芽に含まれているらしい」という情報が入ってきた。ジョンズ・ホプキンス大学のタラ







#### ■村上清貴さんのプロフィール

1960年、山口県熊毛町に生まれる。旧姓田村清貴。広島大学総合科学部を卒業後、(株)リクルート入社。法人営業、商品開発、組織運営など、ここで学んだことは多い。1993年、親族の村上秋人氏に請われ、後継者として(株)村上農園に入社。さまざまな社会的逆風をはね返し、「スプラウト」などヒット商品を連発。同社の再建をすするとともに、生産拠点を全国9カ所に拡大するなど大きく業績を伸ばした。2007年に代表取締役社長に就任。2020年には売上100億達成の目標を掲げている。

#### ■株式会社村上農園

ブロッコリー、豆苗、カイワレダイコンなどスプラウト商品で年間46億円(2014年度)を売り上げる。「農業から脳業へ」を合言葉に、米国ジョンズ・ホプキンス大学、広島大学などの研究成果を積極的に導入。ヘルシー志向の高まりをとらえ“機能的野菜”として売り出し新しい市場を創造した。生産からマーケティングまでのノウハウをパッケージ化してライセンスビジネスを世界市場で展開することを目指している。

レー教授が特許を持っているという。早速、アメリカに飛び、日本で独占販売する契約を結ぶことができました。

機能的性をアピールできる野菜はそれまでなかった。そこで、こうした野菜を「機能的野菜」と定義し、画期的な新野菜として売り込むことにしました。絶対、成功させたい。そこで、大学時代の友人に相談に乗ってもらったんです。

総科の同級生の中には新聞社や広告代理店勤務が何人かいて、それぞれ中堅として仕事のやり方が分かる年齢になっていた。新しい製品を市場にどう認知させるか、中小企業が出来る広報戦略を、友人たちは親身になって考えてくれました。おかげで、全国ネットの人気番組で紹介されるなどして、すごい反響で売上を拡大していくことができました。



すから、文字通りの“機能的野菜”です。

母校とコラボするなど考えたこともありませんでした。もっとも、最初に電話でアプローチしてこられた産学連携センターは、私が広大卒業生だとはご存知なかったようですが(笑)。

母校かどうかは関係なく、自社と関係する分野でどんな研究が進んでいるかが分かれば、産学連携の可能性はもっと広がるかもしれない。企業にとっては、大学との連携で“オンリーワン製品”を創ることができれば願ったり叶ったりですからね。

(笑)。「有意義な学生生活を送った」なんて言えません。

ただ、大学の人間関係は財産です。同級生に相談に乗ってもらったというのもそうですが、最近、広島大学卒業生の集まり「千田塾」の副会長を務めて、さまざまな分野の方々とお付き合いさせていただいています。広大は素晴らしい人材を多数輩出しているのですから、そのネットワークがもっと活かされるとお互いにプラスになると思います。

人間関係が広がると情報が広がる。ウチでも、食品展示会での出会いから沖縄の合弁事業に話が進んだりしています。

そういう意味で、広大のネットワークは大切にしたいと思っています。

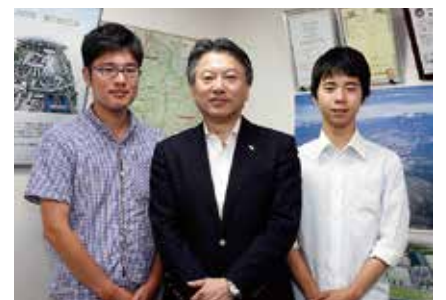
## 母校との共同研究

もう一つ、広大教育学部の佐藤先生との共同研究で「マルチビタミンB<sub>12</sub>かわれ」を製品化しています。ビタミンB<sub>12</sub>は人体に必須の栄養素ですが、野菜には含まれていない。それを、特殊な栽培方法でかわれに付加させる。野菜を食べてビタミンB<sub>12</sub>を摂取できるので

## 広大ネットワーク

思い返しても、大学時代に特筆できるような記憶はないんですよ。勉強もほどほど、クラブも特にしていなかったし、バイトは村上農園の運搬作業だけだし

## 取材の後で



#### 加藤 奨一(総合科学部3年/写真左)

「自分の目で確かめる」ことの大切さを教えていただいた後、村上農園の「豆苗」を買い、青菜炒めにして美味しくいただきました。スプラウトや豆苗は地味な存在と思っていたのですが、その背景にはダイナミックな戦略と、それを支える人のネットワークが広がっていることを知りました。人のネットワーク—広大生として私も広げていきたいと思っています。

#### 妹尾 心(総合科学部2年/写真右)

「自分の力を磨くためには自分の頭で考えること」というメッセージが強く心に残りました。逆風の中、スプラウトをヒットに導いたのは村上さんの鋭い直感と自信だと思っていましたが、それらが地道な努力と苦勞の末に磨かれたものだとして理解できました。成功の理由に納得するとともに、その過程にあった経験に圧倒されました。



写真提供/広島大学文書館

#### 村上さんの学生時代

◆共通一次世代の1期生。「理系だったけど物理が嫌いでも社会が好き」。入試は理系だったが選んだのは文系の社会文化コース。

◆山下彰一先生のもとで発展途上国論を学ぶ。3年生の春には東南アジアへのゼミ旅行に。「海外で仕事をしたい」という希望が芽生える。

◆リクルートに入社。当時海外勤務はなかったが、ビジネスマンとしての仕事のやり方を徹底的に鍛えられた。

国際化

## ケネディ大使と広島生がトーク

in 広島大学霞キャンパス

アメリカ合衆国のキャロライン・ケネディ駐日大使が、4月17日に広島大学霞キャンパスを訪れました。広島大学はスーパーグローバルユニバーシティとして積極的に国際化を進めています。この日、大使を迎えた学部生、大学院生11人も大半が留学経験者。みずみずしい国際感覚で、留学の重要性や世界平和の実現などについてケネディ大使と英語で意見を交わしました。広島県の湯崎町、越智学長なども同席する中、学生たちは臆することなく発言。予定の時間を超えて会話がはずみました。



「広島大学や東広島市の国際化に自分も何か貢献したい」「日米だけでなく世界で活躍して欲しい、という大使の言葉に勇気づけられた」と学生たち。それぞれに強く感銘を受けた様子だった。

## オーストラリアの有力大学との交流が活発に

ニューサウスウェールズ大学と大学間交流協定

6月25日、オーストラリア・ニューサウスウェールズ大学のフィオナ・ドチェルティ副学長（国際担当）が広島大学を訪問。大学間交流協定の調印と記念植樹式を行いました。

ニューサウスウェールズ大学はQS世界大学ランキング48位（2014年）、オーストラリア国内でもトップクラスの公立大学。協定を結んだことで今後、広島大学との間で学生交流や教員・学術交流を促進させることになります。

こうした交流を通して、広島大学は、大学運営の戦略、教育活動推進など学ぶべき点を積極的に取り入れながら、国際化への足どりをスピードアップし、国際的な評価でランクアップを目指します。



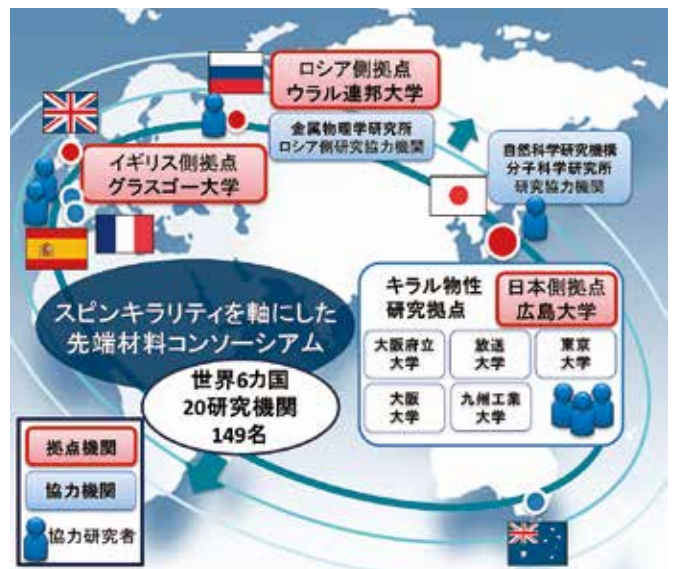
協定締結記念に、オーストラリアを代表する樹木・ユーカリを植樹するドチェルティ副学長（国際担当）

## 広大を中心に国際共同研究

日本学術振興会の研究拠点形成事業（先端拠点形成型）に採択

先端的・国際的に重要と認められる研究課題について、世界各国の研究教育機関をつなぐ協力関係を確立し、世界水準の研究交流拠点の構築を目的として独立行政法人日本学術振興会が実施する事業。平成27年度に採択された「スピニキリティを軸にした先端材料コンソーシアム」は、広島大学インキュベーション研究拠点「キラル物性研究拠点」を中心に、日本、英国、ロシア、オーストラリアなど世界6カ国149名の研究者による共同研究機構です。

テーマは「キラル構造」を持つ磁性体。省電力コンピュータや高感度センサーなど次世代の通信情報機器の材料として世界的に注目と期待を集めています。この先端的な物質を制御する理



論を確立し、新材料の開発に活かそうというもので、各国、各大学の参加研究者が解析や理論構築、キラル物質合成方法確立から応用まで役割を分担。ブレインストーミング、セミナーなどを定期的に開催し、国際間で情報を交換しながら研究を進めます。

こうした国際共同研究の中から、新しい研究手法を身につけた若い研究者が育つ日が待たれます。

表彰

## 越智光夫学長が紫綬褒章を受章

「自家培養軟骨の開発」研究成果で

4月28日、春の褒章が発表され越智光夫学長が紫綬褒章を受章しました。

越智学長はスポーツ外傷などで起きる膝関節の軟骨欠損症の根治療法として、軟骨細胞を立体的に培養する「自家培養軟骨移植術」を考案。後に培養技術を民間会社に技術移転し日本発の再生医療等製品として2013年には保険適用を受けています。この成果が高く評価され、受章につながりました。



## 広島発の世界技術で 「地方創生」のリードモデルを ひろしま自動車産学官連携推進会議

自動車に関する独創的な技術や文化を育て、世界を驚かせる技術と文化が持続的に生み出される風土を育てようと、「ひろしま自動車産学官連携推進会議」の第1回会議が6月11日に開催されました。広島大学と自動車メーカー・マツダ(株)、(公財)広島産業振興機構、広島県、広島市が連携。広島ならではの産学官連携モデルが、地方創生のリードモデルとなり世界のベンチマークとなることを目指しています。

## 小児がん患者さんご家族を サポートする滞在施設 広島大学病院ファミリーハウス完成

広島大学病院は平成25年、地域で小児がん診療の中心的役割を担う「小児がん拠点病院」に中国四国地方で唯一指定されました。

小児がんは治療に長期の入院が必要で、患者さんだけでなくご家族にも精神的・経済的負担がかかります。これを少しでも軽減するため、大学病院近くにファミリーハウスを建設し、5月から利用受け入れを開始しました。これにより遠隔地の患者さんのご家族も近くでお子さんの治療を見守ることができるようになりました。建物は5階建て。ミニキッチン付きの宿泊室が11用意されており、1人1日1,500円で利用することができます。

なお、ファミリーハウスの運営には多額の資金が必要であるため、広く皆さまの寄附をお願いしています。



## 来館者9万人を達成

### 地域に定着する広島大学総合博物館

広島大学総合博物館は平成18年11月の開館以来、様々な展示やイベントを通して、地域に根ざした博物館として定着してきました。毎年、平均1万人が来館しており、7月16日にその総数が9万人に達しました。



9万人目は、設立10周年企画展「海の博物誌-エビ・カニの博物画と研究最前線」に訪れた東広島市の園児でした。岡橋秀典館長から記念品や花束が贈られました。

来年6月には大学博物館等協議会の大会が広島大学で開催されることになっており、「それまでにぜひ10万人の来館者達成を」とスタッフは意気込んでいます。

## 発 見

## 月の石が見せる天体衝突の痕跡

### アポロ15号試料から世界で初めて発見

広島大学、東北大学、千葉工業大学がつくる研究チームは、アポロ15号が持ち帰った月表層の岩石試料(アポロ試料)から、世界で初めてステिशヨバイトを発見しました。ステिशヨバイトはシリカに超高压を加えて生成する物質で、小天体が月に衝突した時にできたと考えられます。



月には無数のクレーターがあり、小天体が衝突した跡といわれていますが、これまで月表面の岩石試料からはステिशヨバイトは見つかっていませんでした。今回発見された試料を調べることで、衝突した天体の速度や大きさ、衝突した年代などを明らかにすることができると期待されています。

## 「2015ひろしまフラワー フェスティバル」に出展

### HCDホームカミングデー学生チーム

今年も広島大学ホームカミングデー学生チームが「ひろしまフラワーフェスティバル2015」にブースを出展しました。卒業生をはじめ大勢の方が立ち寄って大学クイズラリーや写真撮影、お絵かきなどに参加してくださいました。ありがとうございました。



広島大学校友会を核に、小さな広大ネットワークが生まれています。周囲の広大卒業生に声をかけて、小さなネットワークをつくりませんか。お茶を飲みながら、食事をしながら、カープ観戦しながら……お互いに近況を話す。そんな“校友会の芽”を集めてみました。

## 東京広大会 Youth

HCD（ホームカミングデー）在学生会チームリーダーを務めた祖一澄人さんが同期生に声をかけて始まった広大卒業生の会。友だちから友だちへ拡がって、メンバーリストは現在141人。食事とおしゃべりを楽しんでいます。20代が中心で自身の就職活動の経験も生々しいだけに、後輩の首都圏での就職活動をサポートしたり就職セミナーの講師を務めたり……と、在学生会にとって頼れる先輩集団となっています。



**【連絡先】**

祖一 澄人（平成25年経済学部卒） ss0822ss@gmail.com

## 広島大学工学同窓会関東支部 カープ応援企画

6月20日(土)横浜球場での「カープ応援」を企画したのは広島大学工学同窓会関東支部。黒田投手の復帰をはじめ話題がいっぱいの今年のカープとあって、参加者は200人を超えました。卒業間もない若者から80歳近い大先輩まで、スタンドは赤、赤、赤、そして笑顔、笑顔、笑顔。大声援の甲斐あって8対4で広島東洋カープが横浜DeNAベイスターズに圧勝！全員、大満足でした。

勝利の余韻さめやらぬまま、世代を超えた35人が観戦後の二次会へ。応援で枯れた喉を勝利の美酒で潤しながら、カープ談義に花を咲かせました。



## オトナ東京広大会

こちらは「気分は20代だけどちょっとオトナ」なOB、OGの集まり。2月6日(金)の夜、首都圏在住の30～40代の広島大学同窓生、元教職員20人が広島大学東京オフィスに集まりました。名づけて「オトナ東京広大会ーヒロシマづくしー」。NHK朝の連続テレビ小説『マッサン』の生家、竹鶴酒造で造られた「小笹屋竹鶴」純米大吟醸と「お好み焼き」で楽しい時間を過ごしました。

10月9日(金)の夜には、港区の青山アンデルセンで第2回を開催予定。首都圏在住の30～40代（気分年齢含む）の広大卒業生、元教職員の皆さん、ぜひご参加ください。詳細、お申し込みは下記へ。

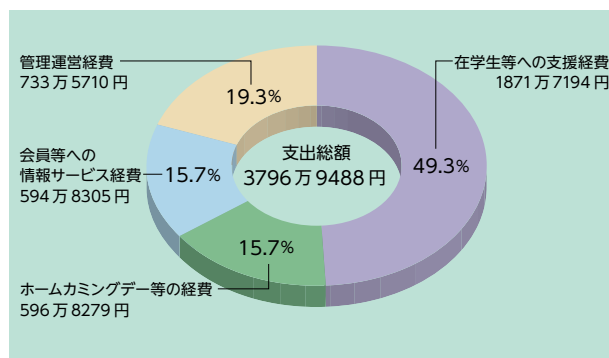


**【連絡先】**

北池 ゆかり（平成10年文学部卒・広島大学東京オフィス勤務）  
 ☎03-5440-9065 メール：koyutk@hiroshima-u.ac.jp  
**【申込サイトURL】** <http://goo.gl/forms/wmiggfWW9p>

● **広島大学校友会の現況**（平成27年5月20日現在）  
 個人会員 16,135名 団体会員 100団体

● **平成26年度支出内訳**



● **平成26年度支出項目**

- 在学生会等への支援経費**  
 教育研究活動支援（ドリームチャレンジ賞、研究助成金）  
 課外活動支援、就職活動支援など
- 会員等への情報サービス経費**  
 校友会だより16号、17号の発行  
 入会案内・活動紹介資料の配付、  
 校友の名簿管理システム改修・保守、  
 入会記念グッズの作成など
- ホームカミングデー等の経費**  
 第8回広島大学ホームカミングデーの開催など
- 管理運営経費**  
 人件費、通信費、事務用品費など